

第12回 情報倫理

- 倫理とは
 - 人倫(人間の実践すべき道義)のみち。道徳。
- 情報倫理とは
 - 法律で禁止されてることも含めて、やってはいけないことの体系。
- 具体的には
 - <http://www.iajapan.org/rule/rule4general/>
 - 電子メール
 - Webコンテンツ
 - ネットワーク
- 東北大学の「コンピュータネットワーク安全・倫理に関するガイドライン」の解説
 - http://www.tohoku.ac.jp/use_network/index-j.htmlより

ガイドラインの基本的な考え方

- 言論の自由と学問の自由
 - 社会の根本原則一言論の自由
 - ⇒学問の自由、通信の自由

- 他者の生命、安全、財産を侵害しない
 - 他者危害の原則(他人に迷惑をかけない)
 - 迷惑をかけなければできるだけ自由 but . . .

- 他者の人格の尊重
 - 個人情報を守る
 - 誹謗中傷はしない。

プライバシーの侵害例

- 他人の肖像（写真を含む）・音声の無断公開
- 他人の個人情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレス、家族構成、経済事情、成績、趣味、行動、性的指向、信条、所属団体等）を本人に無断でwebページなどで公開すること
- 他人が作成した私的文書（電子メールを含む）の無断公開（第三者と共用するパソコンのハードディスクに放置することを含む）

法令、規程、規則の遵守

- 法律は勿論、所属ネットワーク内の決まりを守る。
 - 東北大では学術研究および教育以外の利用禁止
 - 会社での使用メール禁止等。違反は解雇もあり得る。
- 知的財産権の保護
 - 他人の著作物の（文書、画像、音楽）無断複製の禁止
 - 他人の著作物の無断変形の禁止
 - 肖像権の侵害の禁止
- わいせつ罪
 - わいせつ画図公然陳列罪
 - ホームページでの公開やリンク
- その他の犯罪
 - ねずみ講など

ネットワークの安全利用

- 不正アクセスの禁止
 - 他人のIDでのアクセス
 - 通常のアクセス以外の目的でのアクセス(クラッキング)
- 自分のパスワードの管理
 - パスワード破りに強いもの(類推しにくいもの)
 - メモしない。
 - 時々変える。
- 他人の情報へ不正にアクセスしない
 - 他人のファイルやメールファイルをのぞき見る。
- 自分のファイルや情報を守る。
 - アクセスを制限する(WindowsやMacでのファイル共有に注意)。

最後に

- Windowsなどパソコン利用での注意
 - ウィルスに注意！（対策済みのソフトにする。危険性を認識する。）
 - 時々のバックアップ（文書ファイルだけでも。）
- 今後勉強して欲しいこと
 - タッチタイピング
 - 文書作り
 - Webでの効率的な検索
- 最後の宿題
 - 情報基礎で行った各項目の自己評価を以下のABCDで記入。
 - A:ほぼ理解。B:半分ぐらい理解。C:よく分らない。D:全く理解できず。
 - 項目は、1.C言語によるプログラミング。2.データの可視化(gnuplot)。
3.二次元描画(tgif)。4.LaTeXによする文書作成。5.HTML文書の作成。
 - さらに、感想や意見を書いて下さい。今後の参考とします。（辛口歓迎）
 - この宿題は、提出するだけで点数とします。学籍番号・名前も忘れずに。
 - 送り先:kimura@bios.tohoku.ac.jp
 - 締切り:7月19日